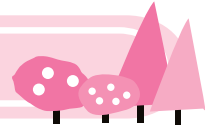


# 市教委だより



東中筋小学校

## 心豊かな子どもたちを 育てるために

東中筋小学校の児童数は92人です。休み時間になると、ほとんどの子どもたちが外に出て元気に一輪車に乗ったり、仲間と一緒に集団ゲームをしています。このつながりをさらに強くし、心豊かな子どもたちに育てるために、いろいろなことに取り組んでいます。その代表的なものをご紹介します。

### ①ペアー読書

月に1回ほど、朝会の時間を利用して、上級生(4・5・6年生)が下級生(1・2・3年生)に対して、本の読み聞かせを行っています。

上級生にとつて自分の責任を果たそうとする意欲や、下級生を思いやる態度の育成に結びついており、一方、下級生にとつては上級生の優しさに気づくことができる絶好の機会づくりとなっています。

### ②青空朝会

毎週金曜日は、「青空朝会」と名付けた子どもたちの体力づくりと交流を目的に、掃除の縦割り班を使って運動会に披露する縄跳び運動を続けました。上手に跳べるようになるため、職員同志が声をかけ、励まし合うことで仲間意識の向上に結び付けています。

### ③ボランティア活動

学期に1回、豊かな心を育てるため、ボランティア活動を行っています。学校周辺のゴミ拾い、福祉施設への訪問、国見駅の清掃活動など子どもたちの環境美化意識の向上や福祉の心を膨らませる取り組みを行っています。

このような活動を通して、子どもたちは仲間とふれあうことの喜びや地域を大切にする心をはぐくんできています。



ボランティア活動



青空朝会



ペアー読書

後川中学校

## 「福祉活動推進校」として

後川中学校では、本年度、四万十市社会福祉協議会の「福祉活動推進校」の指定を受け、取り組んでいます。この推進校指定の重要施策が、ボランティア活動を通して地域の人々との交流を図ることです。

そこで、生徒会が中心となり四半世紀以上続けてきた、「校門前での朝のあいさつ運動と交通安全運動」を主な活動としています。

生徒は、この活動時間には朝の部活動練習に登校しているため、活動の対象は、小学生や地域の人々、そして、目の前を通過する車です。歩行者への挨拶は当たり前ですが、本校は、目の前を通過する車の全てに会釈での挨拶をします。長年の取組みを知っている運転者の多くは、通過前にスピードを落とすとしてくれ、安全運転でこの会釈に応えてくれます。

また、四万十地域福祉計画の学習を、社会福祉協議会の職員さんから学び、地域のこれからについて意見交換を行いました。

このような活動を通して、自分たちの存在感や地域での貢献度を自覚することができそうです。特別なことではありませんが、本校の重要な活動です。



校門活動



福祉の授業

大宮小学校

## 大宮小学校 収穫祭

大宮小学校で毎年恒例となつた収穫祭を行いました。

収穫祭では、お父さんお母さんや地元の人や、お父さんお母さんや地元の老人クラブの皆さんと一緒に



親子で息を合わせて！

にもちつきをしました。もちつきのためのもち米は、大宮小学校のみならず春に田植えをして、先月自分たちで刈り取つたお米を地元の人にもち米と交換してもらつたものです。

つきあがつたおもちも、1年間田んぼのお世話を手伝つていただいた人や、学校行事などでお世話になつた地元の人へのお礼として配りました。もちろん頑張つてもちつきをしたみんなも家に持つて帰つて、おいしくいただきました。

3月で閉校となる大宮小学校では最後の収穫祭となりました。

### 上手につけるかな？



祭となりましたが、地元の方や、お父さんお母さんや地元の老人クラブの皆さんと一緒にもちつきができて本当に楽しかったです。

## 市教委だより

(市)教育委員会  
西土佐事務所

☎(34)1136 FAX(34)4271  
☎(52)1110 FAX(52)1446

E-mail : school@city.shimanto.lg.jp  
E-mail : n-school@city.shimanto.lg.jp

ご質問・ご意見をお寄せください